

地域密着型サービス事業者選定評価基準(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

項目	評価のポイント
1 基本理念及び方針	
(1)応募の理由について	応募の理由が、具体的に適切なものとなっているか。
(2)介護保険制度及び地域密着型サービスの意義について	介護保険制度及び地域密着型サービスの意義・目的や事業所の果たすべき役割をどのように捉えているか。
(3)個人情報の取扱い、従業員の守秘義務について	個人情報の取扱い、従業員の守秘義務に関して具体的な取組方法を考えているか。
(4)法令等遵守について	介護保険法及び関連法令を理解しているか。また、事業所全体で法令を遵守するための具体的な取組方法を考えているか。
(5)サービスの質の向上に向けた取り組みについて(取組方針を列記)	利用者の立場に寄り添い、質の高いサービスを継続して提供するためにどのようなことに取り組むのか。
2 利用者への対応	
(1)利用者の人権・尊厳の保持(身体的拘束廃止、虐待防止等)について	人権やプライバシーの保護、身体的拘束廃止、虐待防止等、尊厳の保持について具体的な方針があるか。また、虐待等があった場合の対策を具体的に考えているか。
(2)苦情対応について	苦情への対応について具体的な取組方法を考えているか。
(3)個別ケアについて	個人のニーズに対応した個別ケアを実現するための具体的な取組方法を考えているか。
(4)認知症ケアについて	認知症の方が日常生活を送るための認知症ケアに関する具体的な取組方法を考えているか。
(5)ターミナルケアについて	終末期の方の受け入れ(訪問看護)を行うこと等について具体的な取組方法を考えているか。
(6)訪問看護について	居宅における療養生活の支援について具体的な取組方法を考えているか。
(7)サービス利用者決定について	サービス利用者を決定することに関して具体的な方針があるか。
(8)利用者の情報を蓄積する機器の整備について	オペレーターが常時、利用者の情報にアクセスできる機器の整備計画を持っているか。また、使用方法は簡易か。(オペレーターに対する使用方法の教示)
(9)利用者からの通報に関する機器の整備について	利用者がオペレーターに通報するケアコール端末の整備計画を持っているか。また、使用方法は簡易か。(利用者に対する使用方法の教示)
(10)利用者への情報提供について	利用者(申込者)が事業所の情報を容易に収集するための具体的な取組方法を考えているか。
3 職員体制及び職員の育成	
(1)人員確保について	人材確保のための具体的な取組方法を考えているか。また、人員基準以上の人員を配置する考えがあるか。
(2)雇用の安定について	雇用及び雇用の定着のための賃金、処遇(昇給の仕組み等)、福利厚生等の具体的な取組方法を考えているか。
(3)管理者の役割・責務について	管理者が果たすべき役割・責務について、どのように考えているか。
(4)基準に義務付けられている資格や研修について	基準に義務付けられている資格や研修について、事業開設までの取得計画において、実現可能なものとなっているか。
(5)職員の研修の機会確保について	職員研修の実施、研修の機会の確保について具体的な方針があるか。
4 周南市内からの雇用の促進等	
(1)周南市内在住者の雇用の促進について	市内における雇用促進についてどのように考えているか。
(2)周南市内の事業者からの什器調達について	市内における什器関係の事業者活用についてどのように考えているか。
(3)施設整備(下請)工事における周南市内の事業者の活用について	市内における建設関係の事業者活用についてどのように考えているか。
5 事業運営	
(1)地域における事業所の立地状況について	地域及び日常生活圏域においてサービス提供に支障のない場所に立地しているか。土地・建物は自己所有か。(賃貸借の場合、事業を継続的に運営できる見込みがあるか。)
(2)協力医療機関等との連携体制について	協力医療機関、協力歯科医療機関等との連携体制について、具体的な方針があるか。
(3)地域包括支援センター、市内介護サービス事業所等との連携・協力について	地域包括支援センター、他の事業所等との連携・協力について、具体的な方針があるか。
(4)介護・医療連携推進会議の構成、活用について	会議の参加者の構成について具体的に考えているか。また、会議における意見や助言をどのように活用していく考えか。
(5)介護と看護の連携体制について	介護と看護の連携体制について、具体的な方針があるか。
(6)安定した事業運営のための利用者確保について	今後の人口動向、高齢者ニーズなど長期的な視野のもと、どのように利用者確保に取り組む考えか。(自社施設以外の利用者の確保についても具体的に記入)
(7)事業を運営するに足る実績・経験について	介護保険サービス事業者として円滑な運営を期待できるノウハウがあるか。
6 安全性への配慮	
(1)日常的な点検体制について	安全確保のために日常的に実施する点検(点検内容・点検実施者等)について具体的な計画を考えているか。
(2)危機管理体制(防火設備・計画・訓練、災害時の緊急連絡体制等)について	火災や天災など非常災害時の危機管理について、地域や協力施設との連携なども含めての計画を考えているか。
(3)事故防止や事故発生時対応について	誤嚥や転倒など日常的な事故の防止や発生時の対応・再発防止について、具体的な計画を考えているか。
(4)衛生管理や感染症等発生時対応について	日常的な衛生管理や感染症・食中毒等の発生時の対応・再発防止について、具体的な計画を考えているか。
7 収支計画	
(1)収支計画の適切性について	事業開始後の5年間の収支シミュレーションは適切か。事業所の建設及び運営に必要な資金計画は確実か(事業費や借入金は過大ではないか)。
(2)法人の経営状況について	法人の経営状況が良好であるか。当該施設の運営に支障はないか。